

## 第10回 中国語教育夏期講座

### — 中国語学習の新しい視点 —

対象：中国語教育に携わっている方、又は中国語学習者。埼玉県内在住または在勤の方。

目的：中国語教育・学習についての理解を深める。

期日：平成30年8月3日（金）

会場：文教大学越谷校舎 3号館（3501R）

定員：20名

#### ◆ 講義内容

##### 講義①「漢字の意味」

徐 瓊（北京外国語大学）

ご存知のように、文字の分類に表音と表意があります。一つの文字で音素または音節を表すのは表音文字で、文字の一つ一つに意味があるのは表意文字です。漢字は表意文字の代表で、漢字それぞれにちゃんと意味があるところはその魅力の一つです。本講義では、漢字または漢字からなる熟語の意味をみなさんと一緒に考えて、漢字の面白さを再発見したいと思います。

##### 講義②「高校の中国語の授業を体験してみようⅡ」

星野 勝樹（埼玉県立伊奈学園総合高等学校）

あまり知られていないかもしれませんが、埼玉県内でも英語以外の外国語の授業が行われている高校がいくつかあります。去年は、実際に高校で行われている中国語の授業を体験していただきました。今回はその続編です。中国語は、自分で音にするのが楽しい言語です。今回は、漢詩の音読などを中心に、簡単な中国語文法や、中国語、中国に関する小話などを交えて進める予定です。基本的な内容から始めます。もちろん、今年度初参加の方も大歓迎です。

##### 講義③「現代中国語における日本語からの借用語について」

王 岩（城西国際大学）

日本語には古代中国語からの借用語が多く見られますが、実は、中国語の中にも日本語からの借用語が数多く存在します。19世紀末に、科学技術の専門用語を中心とする日本語が大量に中国語に移入され、中国における近代科学技術の理解に大きな役割を果たすこととなりました。また、グローバル化の進展に伴い、日本語に由来する多くの新語が中国語に伝わってきています。本講義では、実例を取り上げながら、日中語彙交流史の一端を理解してもらいたいと思います。

# 平成30年度 文教大学

## 言語文化研究所 夏期講座

平成30年8月3日(金)

講座終了後、懇親会があります(参加費無料・軽食有)

	10:30~12:00	13:00~14:30	14:45~16:15
英語教育夏期講座	「フォニックスに頼りすぎない 音声教育」 小田 節子(金城学院大学)	「Producing questions is very hard. Really?」 Simon Evans(国際基督教大学)	「英語テスト結果の視覚化」 伊藤 隆(文教大学)
日本語教育夏期講座	「15,16世紀の中国資料から見る 日本語教育」 蔣 垂東(文教大学)	「韓国における日本語教育史」 権 景愛(韓国外国語大学)	「中世キリシタン資料から見る 日本語教育」 宮武 利江(文教大学)
中国語教育夏期講座	「漢字の意味」 徐 瓊(北京外国語大学)	「高校の中国語の授業を体験して みようⅡ」 星野 勝樹(伊奈学園総合高等学校)	「現代中国語における日本語から の借用語について」 王 岩(城西国際大学)
ヨーロッパの言語と文化 夏期講座	「ドイツ語圏の言語と文化—ドイ ツ語の授業をのぞいてみよう」 山川 智子(文教大学)	「Bonjour! Ça va? An Introduction to French」 グラヴィアニ・ジャン・フランソワ (文教大学)	「ドイツ語圏の成立」 梶谷 雄二(文教大学・兼)
書写書道教育夏期講座 A. 書文化コース 吉沢義和 (元文教大学文学部教授)	講義1 創作(1) 創作の手順	講義2 創作(2) 漢字の書を中心に 作品の構想を練る	講義3 創作(3) 構想をもとに試書する
書写書道教育夏期講座 B. 学校教育コース 豊口和士(文教大学)	学習指導要領概説(小中高)	実技(1) 基本的な用筆法・運筆法	実技(2) 漢字(楷書)

平成30年8月4日(土)



書写書道のみ2日間開催

	10:30~12:00	13:00~14:30	14:45~16:15
書写書道教育夏期講座	講義4	講義5	講義6
A. 書文化コース 吉沢義和 (元文教大学文学部教授)	創作(4) 小品(半切以下)を仕上げる	創作(4) 小品(半切以下)を仕上げる	講義 書の鑑賞の態度
B. 学校教育コース 豊口和士(文教大学)	実技(3) 漢字(行書)	実技(4) 平仮名・片仮名 ・漢字仮名交じりの書	実技(5) その他(葉書・隷書・篆書・仮 名など)

**文教生参加費・資料代無料!**

**※事前の申込をお願い致します。**

— お申し込みについて —

受講料: 無料 ※但し、資料代として500円  
(書道のみ1,000円)を当日受付にて申し受けます。

申込締切: 平成30年7月18日(水)必着

申込方法: HPから申込可能です

<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>

申込先: 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337

文教大学大学院附属言語文化研究所

TEL: (048)974-8811(代) (内線2300)

FAX: (048)974-8012

